

鶴見区区政会議 令和3年度第1回全体会議事録（要旨）

1 日 時 令和3年9月30日（木） 19時05分～20時52分

2 場 所 鶴見区役所 3階302会議室
（「Microsoft Teams」を利用したウェブ会議を併用）

3 出 席 者

（委員）21名

（来庁出席） 山田委員（議長）、内野委員（副議長）、板倉委員、一ノ谷委員、倉谷委員、高田委員
田中委員、西村委員、宮原委員、山口委員

（ウェブ出席） 江口委員、梶委員、島崎委員、鎮西章司委員、鎮西均委員、寺井委員、中田委員、野
口委員、宮本委員、森田委員、綿世委員（梶委員、森田委員：定足数確認後出席）

（区役所）

長沢区長、川島副区長、高嶋総務課長、西久保総務課長代理、貴田政策推進担当課長、
木村政策推進担当課長代理、上原教育担当課長、田村教育担当課長代理、中村市民協働課長、
大川市民協働課長代理、山本窓口サービス課長、得能住民情報担当課長、丹葉保健福祉課長、
日下保健福祉課長代理、浅田子育て支援・保健担当課長、後藤保健担当課長代理、
市橋子育て支援担当課長代理、柏木生活支援担当課長、大川生活支援担当課長代理

4 議 題

- （1） 区政会議の今年度の進め方について
- （2） 令和2年度鶴見区取組実績・評価について
- （3） 令和4年度鶴見区運営方針たたき台について

5 議 事

- （1） 定足数確認
区政会議定足数は、委員定数の2分の1で、現在、25名中19名の出席により、定足数を満
たしている。
- （2） 長沢区長開会のあいさつ
- （3） 議員紹介
- （4） 区政会議の今年度の進め方について説明
- （5） 令和2年度鶴見区取組実績・評価について説明

(6) 令和4年度鶴見区運営方針たたき台について説明

(7) 委員からの意見・要望等

- 他都市で発生した児童虐待事案において、事前に母親や近所の人から何度も相談を受けていたとのことである。鶴見区では、児童虐待に関する相談を受けた場合どのような対応をするのか。また、警察等関係機関との情報共有についてどのように考えているか。
 - 地域、関係機関、学校及び保育所等から児童虐待に関する情報が入った場合、子どもの状態を確認する必要があることから、まず出向いて子どもや先生から話を聞き、子どもが帰りたがらない、けがの状況がひどい等、緊急に保護が必要と判断される場合、こども相談センターと連携し緊急一時保護となる。ただ、保護者から話を聞き、子どもへ暴力を振るわないよう警告し理解が得られた場合は一旦話を終わり、その後保護者に連絡を取り合いながら見守りを行う。
 - 関係機関との連携について、区役所とこども相談センターとは常に連携を取っている。110番通報を受けた事例について、警察から区への情報提供が行われる。また、必要に応じて区から警察へ連絡し情報共有している。
- 地域がどれだけ活動し、動いているか調査されたことはあるのか。本当に地域の活動をどこまで把握しているのか。
 - 地域の活動について、回れていない地域がかなりあるのも事実である。今後より一層地域に出向き、情報収集を行い、お話し等をさせて頂きたい。
- アンケート調査について、参加している人へのアンケート調査結果は良好となる。参加していない人に対するアンケート調査を実施願いたい。
 - 「定年退職後の社会参加促進企画調査」において、参加していない人に対して、どういふことがあれば参加できるかをといった設問を設けている。

- 成人式について、新成人において準備が必要であるため、コロナ禍で未定であったとしても、鶴見区としての実施の方向性を示されたい。
 - 令和2年度の成人式は大阪市に集約され、ユースジェイにおいて開催予定であり、10月1日付け、緊急事態宣言が解除されたことから情報が入り次第提供する。なお、令和3年度の成人式は実施する方向で来月実行委員会の立ち上げを行う予定である。

- 「こどもに寄りそう事業」において、「区内の小学校に、不登校に陥っている児童～」とあるが、中学生の不登校に関して区が関わることはないのか。
 - 中学生の不登校も深刻な状況になっている。中学生向けに事業を拡充できないか検討している。

- まちづくりセンターの地活協への支援について、当初、地活協をNPO法人化することがゴールであったと思うが、市内でNPO法人となった地活協は4法人に止まる現状から、明確なゴールを示していただきたい。
 - 鶴見区において2団体はNPO法人である。NPO法人化することについて、今後、課題整理を図って参りたい。まちづくりセンターとは、今年度から3か年の長期継続契約を締結済である。それ以降、地活協や区役所の状況を見て検討をしてみたい。

- ワクチン接種をするかしないかで分断が起こることのないよう、区役所から情報発信されたい。
 - ワクチン接種の有無による差別について、広報紙にどのように掲載するか検討しているところである。正しい情報に基づきワクチン接種を行うよう発信済である。今後、時宜にかなった情報を発信してみたい。

- こども食堂を運営する中で学習意欲を駆り立てるための体験型学習を行っている。こどもの居場所支援について、今後はウェブでの取り組みができないか検討をお願いしたい。
 - 情報発信や事業運営の支援を進める必要があると認識している。今後、ウェブを併用した形でのオープン会議を開催したいと考えている。
 - こどもの居場所づくりについて、令和4年度に向けて鶴見区はモデル区となったので、区社協とともに進めてみたい。また、地域の方々には支援をお願いしたい。

- フードバンク、フードドライブ等の取組みについて、区役所として情報発信や食料品を集めるなどの取組みを検討してほしい。また、学生にも、コロナ禍で大変だということもあるかので、つなげていけたらよい。
 - フードドライブについて、大阪市では環境局が行っており、区役所において月1回集める取組みが行われている。その点、広報紙に掲載している。

- 災害時における避難所は小学校になっていることが通例であるが、水につかると講堂は使えなくなる。災害の種類によっては避難場所が異なる場所にならざるを得ないと思うがいかがか。また、各避難場所を明示してもらいたい。
 - 水害時は一時的に市営住宅の3階以上の踊り場やイオンに避難してもらうことを想定している。災害の状況によって避難場所を変えていくこととしている。明示について、ハザードマップには掲載している。できるだけ色々なところで広報活動を行っていきたいと考えている。

(8) 黒田議員の助言

(9) 退任される委員の挨拶

板倉委員、高田委員、一ノ谷委員、山口委員、内野委員、倉谷委員、西村委員、中田委員、森田委員、宮本委員

(10) 長沢区長閉会のあいさつ

(11) 事務連絡

- アンケート集計結果、チラシの配布について
- 次回区政会議に係る日程調整の依頼（10月予定）

(12) 山田委員（議長）挨拶